

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2017. 4~6月期 第22回

【特別調査—中小企業の3~5年後の事業の見通しについて】

津山信用金庫は、作州地域内254企業の経営者のご協力のもと、ここに第22回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:4月~6月の業況は曇、7月~9月の見通しは晴れ時々曇■

【地域別天気図】	2016年 4月~6月	2016年 7月~9月	2016年 10月~12月	2017年 1月~3月	今期実績 4月~6月	来期見通し 7月~9月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2017年4月~6月)の業況判断DIは、前期比1.2ポイント下落し、プラス5.9となり、3期連続のプラス水準となった。来期(2017年7月~9月)は、プラス16.2と業況感が改善する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比3.6ポイント下落し、プラス4.5、真庭地域は前期比15.8ポイント改善し、プラス13.7、美作勝央地域は前期比11.9ポイント下落し、プラス2.1となった。来期は、津山鏡野地域プラス17.9、美作勝央地域プラス15.2と景況感が改善する見通しであるが、真庭地域プラス11.8と下落する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	7.1	23.6	58.7	17.7	5.9	32.7	50.8	16.5	16.2
津山鏡野地域	8.1	22.3	59.9	17.8	4.5	35.7	46.5	17.8	17.9
真庭地域	▲2.1	29.4	54.9	15.7	13.7	25.5	60.8	13.7	11.8
美作勝央地域	14.0	21.7	58.7	19.6	2.1	30.4	54.3	15.2	15.2

※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

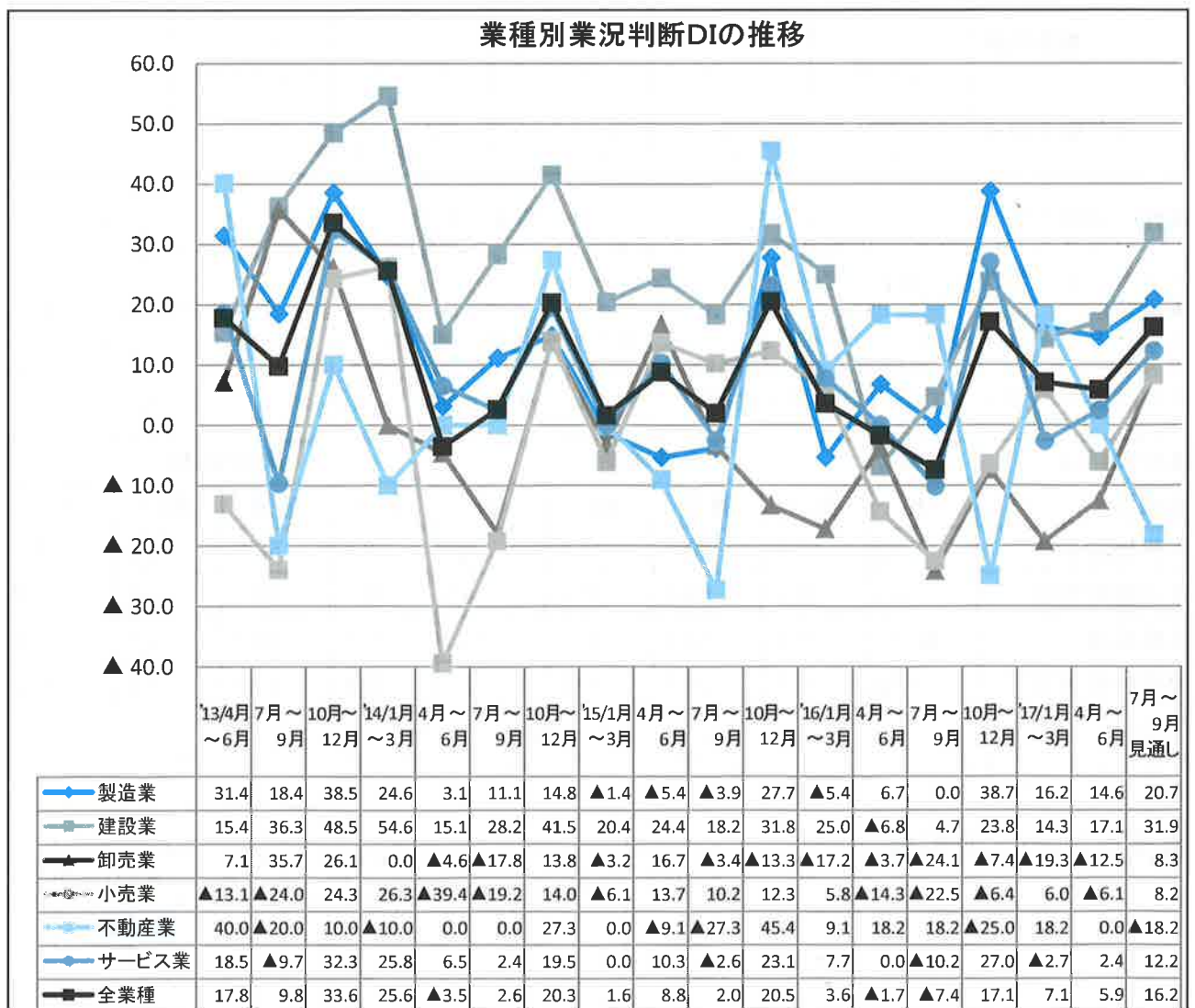
■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~ 0未満	▲30以上 ~ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2016年 4月～6月	2016年 7月～9月	2016年 10月～12月	2017年 1月～3月	今期実績 4月～6月	来期見通し 7月～9月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						

業種別業況判断DIの推移



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	7.1	23.6	58.7	17.7	5.9	32.7	50.8	16.5	16.2
売上	3.0	31.9	33.1	35.0	▲ 3.1	37.0	44.5	18.5	18.5
収益	▲ 2.9	28.3	40.9	30.7	▲ 2.4	31.5	51.2	17.3	14.2

●業況判断D Iは、今期(2017年4月～6月)はプラス5.9となり、前期比1.2ポイント下落した。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス16.2となっている。

●売上判断D Iは、今期はマイナス3.1となり、前期比6.1ポイント下落した。来期見通しはプラス18.5となっている。

●収益判断D Iは、今期はマイナス2.4となり、前期比0.5ポイント改善した。来期見通しはプラス14.2となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正
資金繰り	0.0	14.6	79.1	6.3	8.3	9.8	84.6	5.5	4.3
雇用(人手過不足)	▲ 35.8	5.9	57.9	36.2	▲ 30.3	3.5	59.8	36.6	▲ 33.1
設備投資	▲ 11.4	3.7	83.1	13.2	▲ 9.5	2.5	85.6	11.9	▲ 9.4

●資金繰り判断D Iは、今期(2017年4月～6月)はプラス8.3となり、前期比8.3ポイント改善した。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス4.3となっている。

●人手過不足判断D Iは、今期はマイナス30.3となり、前期比5.5ポイント改善した。来期見通しはマイナス33.1となっている。農林業、住宅建設、医療福祉業では、人手不足と回答する企業が半数以上となっている。

●設備投資D Iは、今期はマイナス9.5となり、前期比1.9ポイント改善した。来期見通しはマイナス9.4となっている。製造業は、マイナス12.2で全業種平均を下回っており、製造業の約2割の企業から「やや不足」「不足」の回答があった。

■製造業■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	16.2	31.7	51.2	17.1	14.6	37.8	45.1	17.1	20.7
売上	5.4	36.6	26.8	36.6	0.0	41.5	42.7	15.9	25.6
収益	6.8	37.8	31.7	30.5	7.3	35.4	48.8	15.9	19.5

●製造業の業況判断D Iは、今期(2017年4月～6月)は前期比1.6ポイント下落し、プラス14.6となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス20.7となっている。

●売上判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しはプラス25.6となっている。

●収益判断D Iは、今期はプラス7.3、来期見通しはプラス19.5となっている。

●製造業の内、その他製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業を除いたもの)の業況判断D Iは、今期はプラス18.6、来期見通しはプラス13.9となっている。

●自動車関連、食品関連、繊維関連企業等から「景況感が良い」との回答があった。人手不足や内職者の不足で、受注ができないとの声が複数聞かれた。製造直販店舗を開設し、販売強化を行っている企業が複数あった。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	46.1	21.4	64.3	14.3	7.1	35.7	64.3	0.0	35.7
売上	38.4	35.7	50.0	14.3	21.4	35.7	57.1	7.1	28.6
収益	30.7	35.7	57.1	7.1	28.6	21.4	71.4	7.1	14.3

●金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比39.0ポイントと大幅に下落し、プラス7.1となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス35.7となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス21.4、来期見通しはプラス28.6となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス28.6、来期見通しはプラス14.3となっている。

●今期は、大手企業からの受注が減少したこと、原材料等の値上げから景況感が悪化した。仕入価格DIはプラス35.7と平成26年以来の高い水準となり、販売価格DIは調査開始以来最高のプラス14.3となった。来期は、受注が回復し「業況が悪い」の回答はなかった。

製造業のうち: 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		7.7	35.7	50.0	14.3	21.4	42.9	50.0	7.1	35.8
売上		0.0	35.7	28.6	35.7	0.0	35.7	57.1	7.1	28.6
収益		7.7	35.7	28.6	35.7	0.0	28.6	71.4	0.0	28.6

●木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比13.7ポイント改善し、プラス21.4となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス35.8となっている。

●売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス28.6となっている。

●収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス28.6となっている。

●住宅着工件数および在来軸組工法ともに前年比3%増加で推移しているが、国産材を扱う事業者からは構造材の販売量は伸びていないとの声が多く聞かれた。

製造業のうち: 農林業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		▲9.1	18.2	63.6	18.2	0.0	36.4	36.4	27.3	9.1
売上		▲36.3	36.4	18.2	45.5	▲9.1	54.5	27.3	18.2	36.3
収益		▲36.4	27.3	27.3	45.5	▲18.2	54.5	27.3	18.2	36.3

●農林業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比9.1ポイント改善し、ゼロとなった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス9.1となっている。

●売上判断DIは、今期はマイナス9.1、来期見通しはプラス36.3となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス18.2、来期見通しはプラス36.3となっている。

●林業では伐採期を迎えたが、製材所からの需要は少なく5月の連休明けから原木価格は下降しているとの声が聞かれた。人手不足を補うための外注が増加しているとの声が複数聞かれた。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		14.3	27.7	61.7	10.6	17.1	40.4	51.1	8.5	31.9
売上		16.7	31.9	40.4	27.7	4.2	27.7	55.3	17.0	10.7
収益		▲4.7	17.0	63.8	19.1	▲2.1	27.7	59.6	12.8	14.9

●建設業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比2.8ポイント改善し、プラス17.1となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス31.9となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス4.2、来期見通しはプラス10.7となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス2.1、来期見通しはプラス14.9となっている。

●住宅建設を除いた建設業の業況判断DIは、今期はプラス16.1、来期見通しはプラス29.0となっている。

●夏休み中の学校関係工事など来期以降の工事が増加傾向にあるとの声が複数あった。また、住宅建設を除く建設業の仕入価格DIがプラス38.7と平成26年以来の高い水準となった。

建設業のうち: 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	12.5	25.0	68.8	6.3	18.7	43.8	50.0	6.3	37.5
売上	25.0	37.5	43.8	18.8	18.7	25.0	62.5	12.5	12.5
収益	0.0	18.8	75.0	6.3	12.5	25.0	68.8	6.3	18.7

●住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比6.2ポイント改善し、プラス18.7となった。来期(2017年7月～9月)の見通しはプラス37.5となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス18.7、来期見通しはプラス12.5となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス12.5、来期見通しはプラス18.7となっている。

●介護関連で高齢者宅のバリアフリー等のリフォーム需要が増加しているとの声があった。また、人手不足や高齢化などの課題に人事評価や制度を見直して対応しているとの声が聞かれた。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	▲19.3	16.7	54.2	29.2	▲12.5	25.0	58.3	16.7	8.3
売上	▲19.2	33.3	33.3	33.3	0.0	41.7	45.8	12.5	29.2
収益	▲26.9	33.3	37.5	29.2	4.1	37.5	54.2	8.3	29.2

●卸売業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比6.8ポイント改善し、マイナス12.5となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス8.3となっている。

●売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス29.2となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス4.1、来期見通しはプラス29.2となっている。

●今期は、建築資材、食品卸売業者から「業況が悪い」との回答があった。来期は、運賃の値上げ要請、6月の改正酒税法施行による酒類の小売価格の値上げの影響があるとの声が聞かれた。また、異業種連携による新商品の取扱いで販売強化したいとの声が複数あった。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	6.0	16.3	61.2	22.4	▲6.1	28.6	51.0	20.4	8.2
売上	8.0	30.6	30.6	38.8	▲8.2	36.7	34.7	28.6	8.1
収益	2.0	26.5	34.7	38.8	▲12.3	30.6	40.8	28.6	2.0

●小売業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比12.1ポイント下落し、マイナス6.1となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス8.2となっている。

●売上判断DIは、今期はマイナス8.2、来期見通しはプラス8.1となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス12.3、来期見通しはプラス2.0となっている。

●今期は、入学・進学用品を取り扱う企業の景況感がよく、ガソリンスタンドの景況感が悪くなっている。販売面では、ネット販売の強化や店舗のリニューアルを予定しているとの声が聞かれた。また、薬局では来年の薬価改定を心配する声が複数聞かれた。

小売業のうち: 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず
業況	35.7	21.4	50.0	28.6	▲7.2	28.6	50.0	21.4	7.2
売上	57.1	21.4	21.4	57.1	▲35.7	35.7	50.0	14.3	21.4
収益	57.2	21.4	14.3	64.3	▲42.9	28.6	57.1	14.3	14.3

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比42.9ポイントと大幅に下落し、マイナス7.2となり、8期ぶりのプラス水準となった前期から再びマイナス水準になった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス7.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス35.7、来期見通しはプラス21.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス42.9、来期見通しはプラス14.3となっている。
- 大型中古車販売業者がオープンしたが、取扱う中古車が違うため脅威を感じていないとの声や新車販売が思ったより悪いとの声が聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	18.2	9.1	81.8	9.1	0.0	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2
売上	27.3	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3	27.3	54.5	18.2	9.1
収益	27.3	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3	18.2	63.6	18.2	0.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比18.2ポイント下落し、ゼロとなった。来期(2017年7月～9月)見通しはマイナス18.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス27.3、来期見通しはプラス9.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス27.3、来期見通しはゼロとなっている。
- 津山市内や鏡野町で分譲地の販売が好調であるとの声が複数聞かれた。また、商品土地の不足と中古不動産の取引価格の下落により先行きに不安を感じるとの声が複数聞かれた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 2.7	19.5	63.4	17.1	2.4	29.3	53.7	17.1	12.2
売上	▲ 16.2	26.8	39.0	34.1	▲ 7.3	39.0	43.9	17.1	21.9
収益	▲ 18.9	24.4	43.9	31.7	▲ 7.3	29.3	53.7	17.1	12.2

- サービス業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比5.1ポイント改善し、プラス2.4となった。来期(2017年7月～9月)見通しはプラス12.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス7.3、来期見通しはプラス21.9となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス7.3、来期見通しはプラス12.2となっている。
- 今期は、新料金体系により旅客運送(バス・タクシー)業者等から「業況が良い」と回答があった。一方、荷物運送業者や自動車整備業者等から「業況が悪い」と回答があった。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	8.3	10.0	70.0	20.0	▲ 10.0	20.0	50.0	30.0	▲ 10.0
売上	8.3	10.0	50.0	40.0	▲ 30.0	10.0	80.0	10.0	0.0
収益	8.3	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0	10.0	80.0	10.0	0.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2017年4月～6月)は前期比18.3ポイント下落し、マイナス10.0となった。来期(2017年7月～9月)見通しはマイナス10.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス30.0、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス20.0、来期見通しはゼロとなっている。
- 介護施設では、特別養護老人ホームが増加して、同業者間の競争が激化している。また、施設入所者が病院に入院することが増え、施設の稼働率がダウンし収入が減少する傾向がある。経費の大部分が人件費であり、人材不足と共に経営上の大きな問題点となっている。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	42.7	36.6	20.7	22.0
建設業	34.0	46.8	19.1	14.9
卸売業	16.7	45.8	37.5	▲ 20.8
小売業	22.4	44.9	32.7	▲ 10.3
不動産業	27.3	45.5	27.3	0.0
サービス業	36.6	39.0	24.4	12.2
総計	33.1	41.7	25.2	7.9

業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	35.4	45.1	19.5	15.9
建設業	25.5	57.4	17.0	8.5
卸売業	20.8	54.2	25.0	▲ 4.2
小売業	20.4	44.9	34.7	▲ 14.3
不動産業	36.4	45.5	18.2	18.2
サービス業	36.6	39.0	24.4	12.2
総計	29.5	47.2	23.2	6.3

業種別	増加	変らず	減少	DI
卸売業	16.7	75.0	8.3	8.4
小売業	8.2	79.6	12.2	▲ 4.0
総計	11.0	78.1	11.0	0.0

- ① 昨年同期(2016年4月～6月)比較売上高DIは、全業種ではプラス7.9となった。
 ② 昨年同期比較収益DIは、卸売業と小売業でマイナスとなったが、全業種ではプラス6.3となった。
 ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス8.4、小売業マイナス4.0となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降
製造業	▲ 2.7	7.3	79.3	13.4	▲ 6.1	13.4	80.5	6.1	7.3
建設業	0.0	6.4	85.1	8.5	▲ 2.1	6.4	85.1	8.5	▲ 2.1
卸売業	0.0	16.7	75.0	8.3	8.4	8.3	83.3	8.3	0.0
小売業	6.0	4.1	81.6	14.3	▲ 10.2	12.2	85.7	2.0	10.2
不動産業	0.0	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1	9.1	90.9	0.0	9.1
サービス業	0.0	4.9	92.7	2.4	2.5	4.9	95.1	0.0	4.9
総計	0.4	6.7	83.1	10.2	▲ 3.5	9.8	85.4	4.7	5.1

● 今期の販売価格DIは、全業種でマイナス3.5となり、3期ぶりのマイナス水準となった。来期は、全業種でプラス5.1とプラス水準に転じる見通しとなっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降
製造業	21.6	19.5	72.0	8.5	11.0	17.1	80.5	2.4	14.7
建設業	7.1	27.7	72.3	0.0	27.7	17.0	83.0	0.0	17.0
卸売業	15.4	25.0	70.8	4.2	20.8	12.5	87.5	0.0	12.5
小売業	8.0	16.3	75.5	8.2	8.1	16.3	77.6	6.1	10.2
不動産業	▲ 9.1	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業	13.5	9.8	85.4	4.9	4.9	12.2	85.4	2.4	9.8
総計	12.9	18.5	75.6	5.9	12.6	15.0	82.7	2.4	12.6

● 今期の仕入価格DIは、不動産業を除き、全業種でプラス12.6となった。来期見通しも、全業種でプラス12.6となっている。

● 不動産業では、仕入価格DIが10期連続マイナス水準であったが、来期はゼロの見通しとなっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	0.0	12.2	78.0	9.8	2.4	6.1	86.6	7.3	▲ 1.2
建設業	4.7	4.3	95.7	0.0	4.3	4.3	95.7	0.0	4.3
卸売業	3.9	12.5	87.5	0.0	12.5	4.2	95.8	0.0	4.2
小売業	14.0	14.3	77.6	8.2	6.1	6.1	89.8	4.1	2.0
不動産業	▲ 36.4	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2
総計	3.0	10.8	81.7	7.5	3.3	6.1	88.3	5.6	0.5

●在庫DIは、今期は全業種で8割超が適正と回答し、全業種でプラス3.3となった。来期見通しは、全業種で約9割が適正と回答し、全業種でプラス0.5となっている。

■受注残■

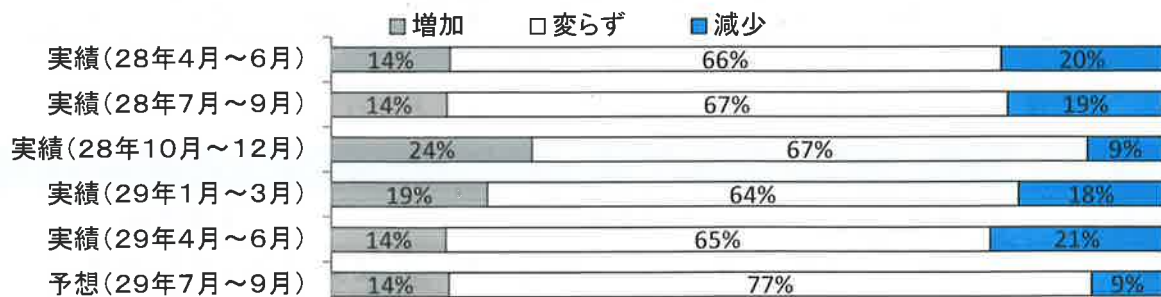
受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず
製造業	5.5	25.6	43.9	30.5	▲ 4.9	35.4	54.9	9.8	25.6
建設業	9.5	25.5	48.9	25.5	0.0	29.8	53.2	17.0	12.8
総計	6.9	25.6	45.7	28.7	▲ 3.1	33.3	54.3	12.4	20.9

●製造業の受注残DIは、今期は前期比10.4ポイント下落し、マイナス4.9となり、5期ぶりにマイナス水準となった。来期見通しはプラス25.6となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比9.5ポイント下落し、ゼロとなり、4期連続のプラス水準とはならなかったが、来期は、プラス12.8とプラス水準になる見通しとなっている。

■雇用面の動き■

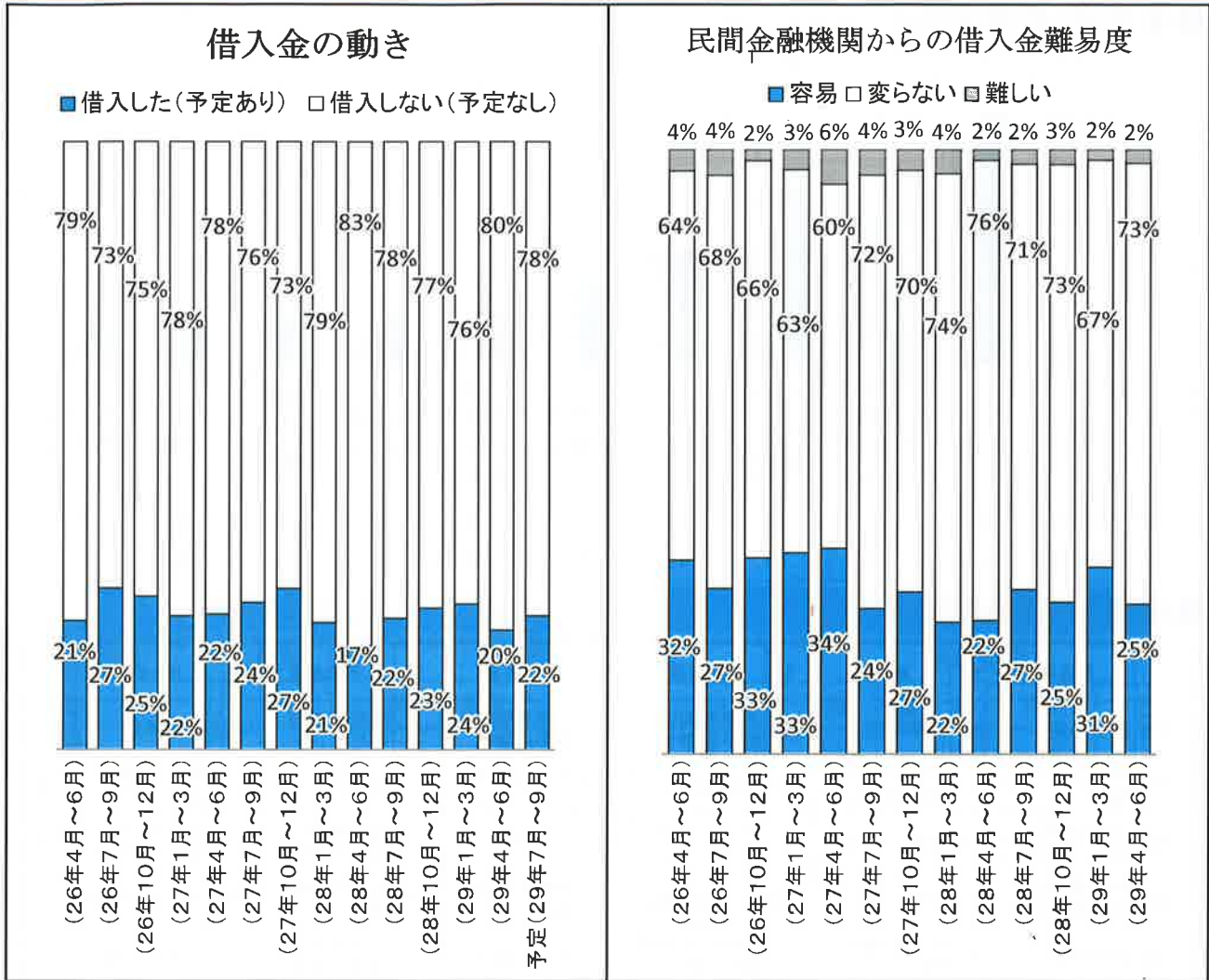
前期比残業時間



人手実績と予想



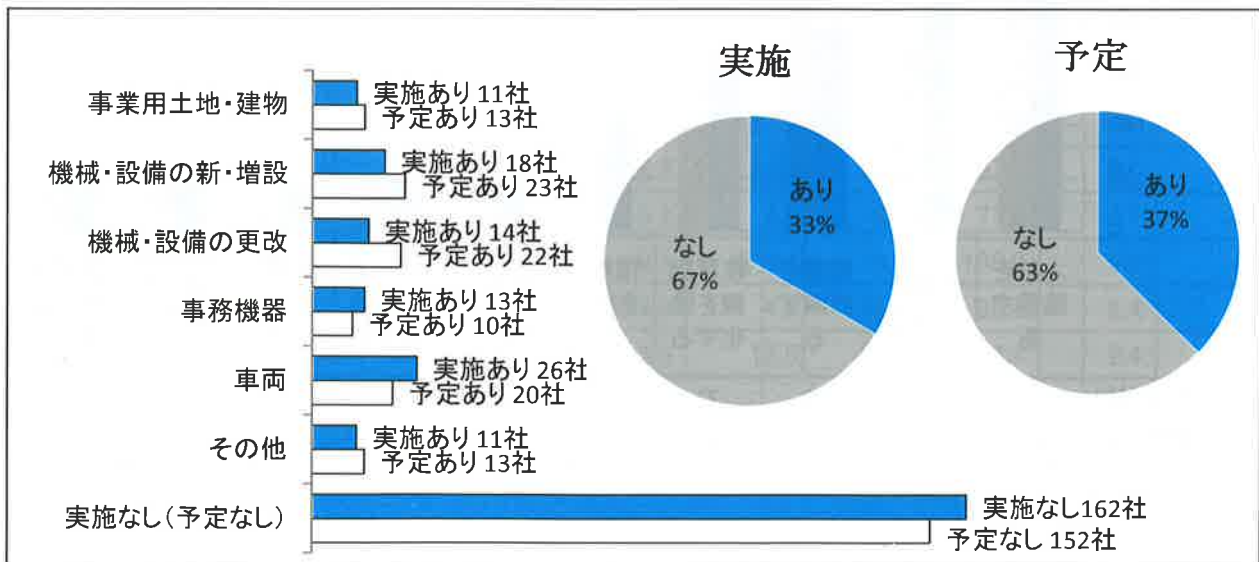
借入金の動き・難易度



● 2016年1月にマイナス金利政策が導入されたが、借入をした企業の割合は、今期(29年4月～6月)20%と依然として低い水準となっている。また、借入の難易度は、『容易』と回答した企業の割合が前期比6%下落し、25%となり、『難しい』は前期と同じ2%となっている。

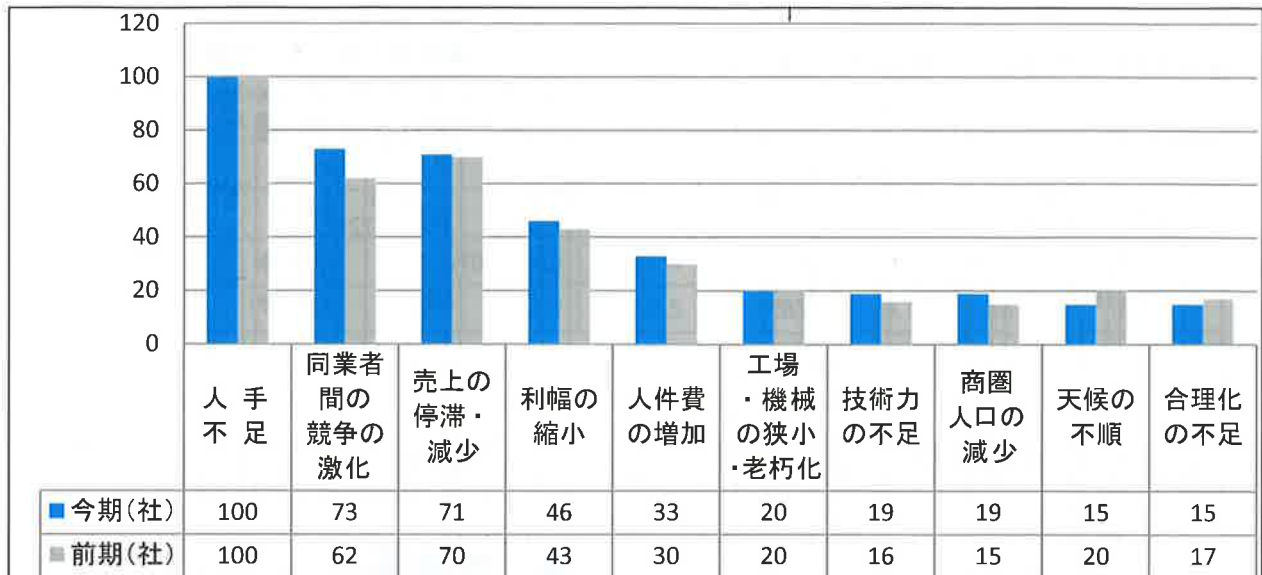
設備投資の実施(29年4月～6月)と予定(29年7月～9月)

● 全業種(除く不動産業:有効回答計243社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

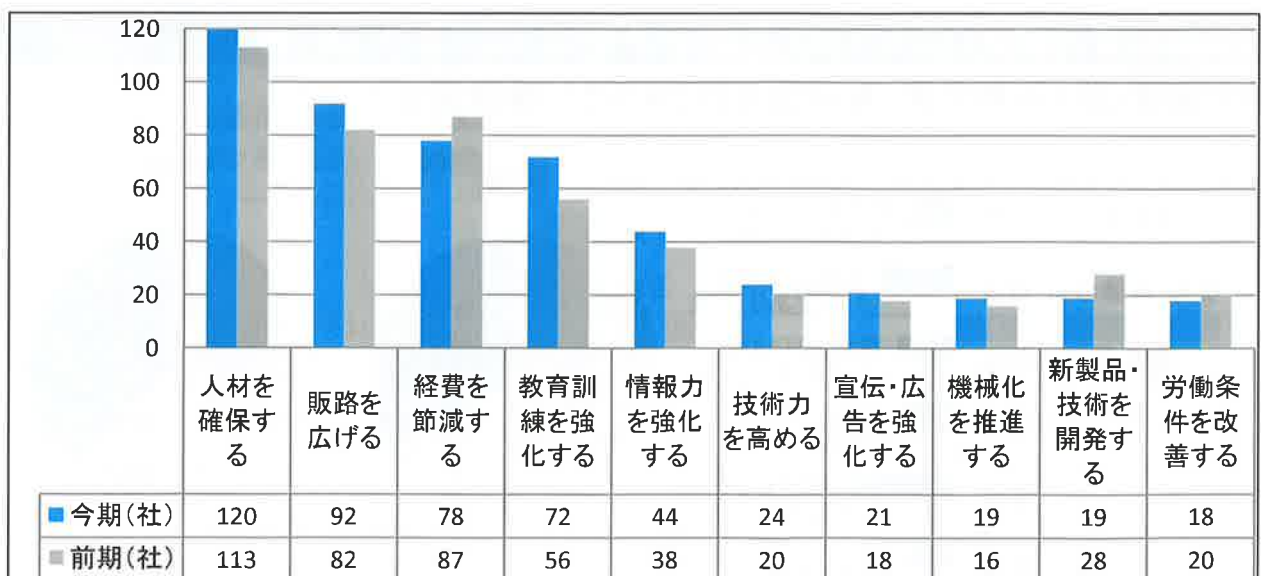


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	人手不足	20.7	人手不足	20.8	同業者間の競争の激化	22.0	同業者間の競争の激化	17.1	商品物件の不足	24.0	人手不足	23.2
2位	売上の停滞・減少	11.2	同業者間の競争の激化	12.9	利幅の縮小	15.3	売上の停滞・減少	16.2	利幅の縮小	20.0	売上の停滞・減少	12.1
3位	工場・機械の狭小・老朽化	10.6	技術力の不足	10.9	売上の停滞・減少	13.6	人手不足	12.6	同業者間の競争の激化	16.0	同業者間の競争の激化	11.1
4位	同業者間の競争の激化	6.9	利幅の縮小	9.9	取引先の減少	10.2	商圏人口の減少	10.8	売上の停滞・減少	12.0	人件費の増加	8.1
5位	原材料高	6.9	売上の停滞・減少	8.9	販売納入先からの値下げ要請	5.1	利幅の縮小	9.0	大手企業との競争の激化	8.0	技術力の不足	8.1

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	20.2	人材を確保する	20.7	販路を広げる	22.8	教育訓練を強化する	19.2	情報力を強化する	24.0	人材を確保する	28.0
2位	人材を確保する	17.8	技術力を高める	20.7	経費を節減する	19.3	人材を確保する	16.7	宣伝・広告を強化する	20.0	販路を広げる	14.0
3位	経費を節減する	12.5	販路を広げる	16.4	情報力を強化する	17.5	経費を節減する	11.7	販路を広げる	16.0	教育訓練を強化する	12.0
4位	教育訓練を強化する	9.6	経費を節減する	13.8	人材を確保する	15.8	店舗・設備を改装する	10.8	新しい事業を始める	12.0	技術力を強化する	11.0
5位	新製品・技術を開発する	9.1	教育訓練を強化する	11.2	教育訓練を強化する	7.0	品揃えを改善する	10.0	経費を節減する	8.0	経費を節減する	9.0

■調査員の調査コメントから■

○今期(2017年4～6月期)の業況判断DIは、前期見通しプラス15.4を大幅に下回るプラス5.9となり、建設業とサービス業を除き全業種で景況感が悪化している。マイナス水準となった卸売業と小売業では、建築材料、飲食料品や燃料小売業者の前期見通しと今期実績が20ポイント以上の大幅かい離となっている。また、公共工事の発注量が少なくなっていることも景況感悪化の要因となっているとの声が複数聞かれた。

○来期(2017年7月～9月)の業況判断DIは、慢性的な人材不足に加え、物価の上昇、6月の改正酒税法施行、宅配業者の配送方法の見直しによる配送コストの上昇等による経営環境の悪化を危惧する声が聞かれたが、不動産業を除く全業種で改善する見通しで、プラス16.2となっている。

○業種の垣根がなくなり、異業種からの参入で競争が激化しているとの声があった。一方で、自社の技術を他分野に転用することで付加価値が生まれているとの声が聞かれた。

○朝鮮半島の情勢不安、アメリカを始め自国第一主義による自国優先の動きが広がることで、海外取引が停滞し、国内生産量が減少するのではないかと懸念する声が聞かれた。

○人材確保、人材不足への対応策として以下の声が聞かれた。

- ・人材確保策として、プロフェッショナル人材拠点事業・エキスパート人材拠点事業の活用
- ・人材流出防止策として、特定退職金共済制度や保険商品を活用した退職制度の充実
- ・働き方改革として、休日の増加および作業見直しによる残業時間の削減
- ・高齢化対策として、作業マニュアルの作成による円滑な技術の継承

○事業承継が、経営者の中ではっきりとした課題として認知されてきている。後継者がいない先では、M&Aや廃業を具体的に考え始めているとの声が多数聞かれた。

○3～5年後の事業の見通しについては、不動産業を除く業種で、「明るい」が「暗い」を上回っている。3年後の東京オリンピックまでは「明るい」とする声が複数聞かれた。安定した事業を続けるために重視する事柄は「人材」との回答が多く、人材確保と人材育成を同時に行っていきたいとの声が多く聞かれた。

■調査要領■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2017年5月22日～6月7日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

DIを中心に分析

5. 季節変動について

地区別	企業数	比率
津山鏡野地域	157	61.8%
真庭地域	51	20.1%
美作勝央地域	46	18.1%
総計	254	100.0%

業種別	企業数	比率
製造業	82	32.3%
建設業	47	18.5%
卸売業	24	9.4%
小売業	49	19.3%
不動産業	11	4.3%
サービス業	41	16.1%
総計	254	100.0%

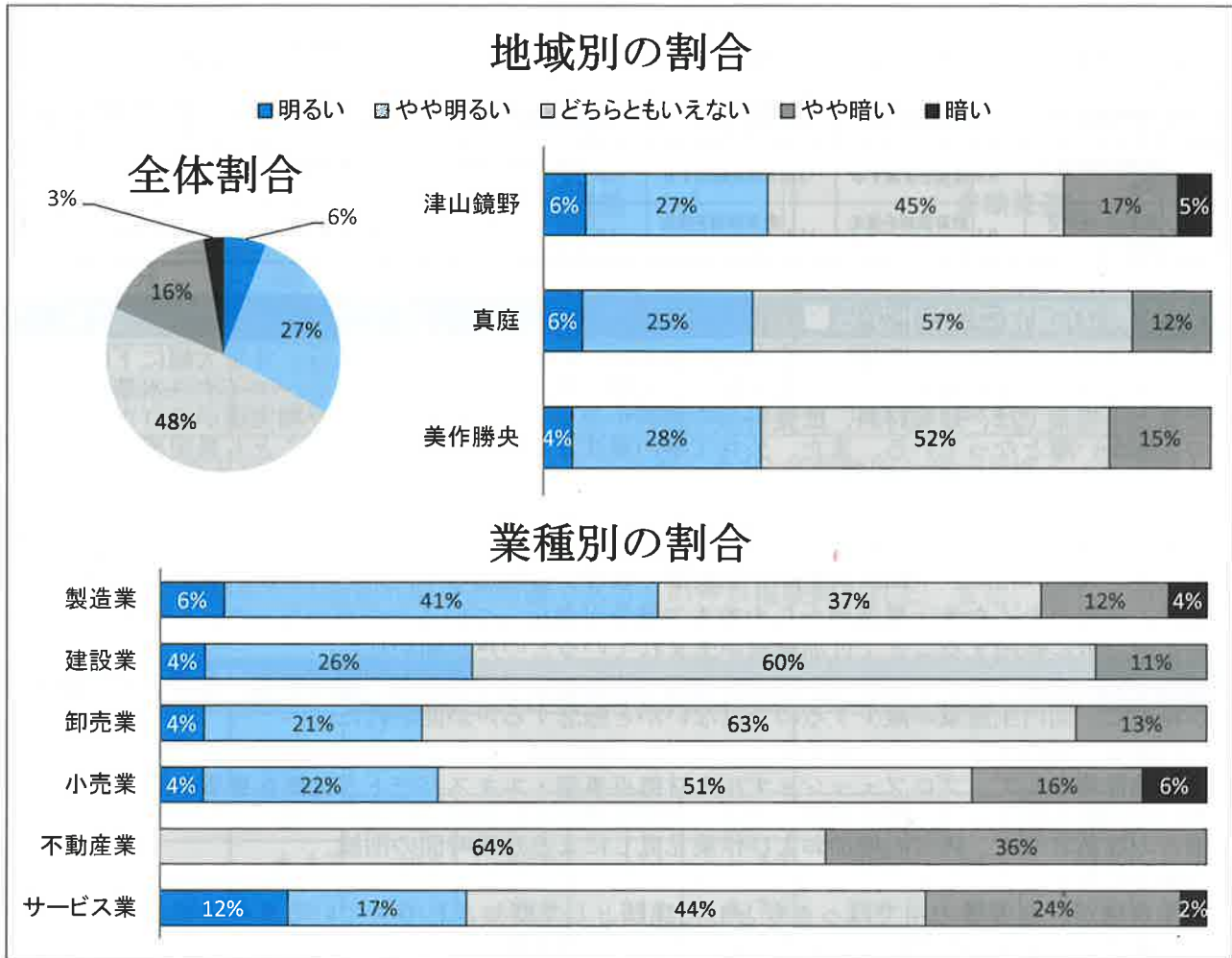
従業員規模別	企業数	比率
1～4人	46	18.1%
5～9人	63	24.8%
10～19人	61	24.0%
20～29人	28	11.0%
30～39人	16	6.3%
40～49人	14	5.5%
50～99人	12	4.7%
100～199人	11	4.3%
200～300人	3	1.2%
総計	254	100.0%

業況判断DIは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。
また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

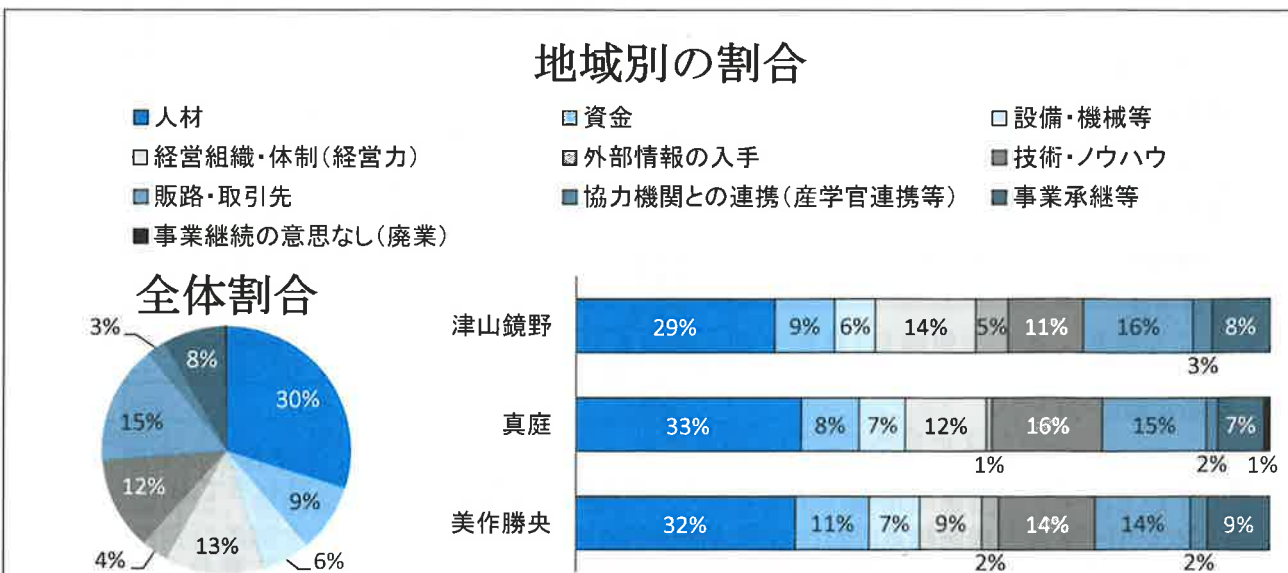
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査「中小企業の3～5年後の事業の見通しについて」

問1. 3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。

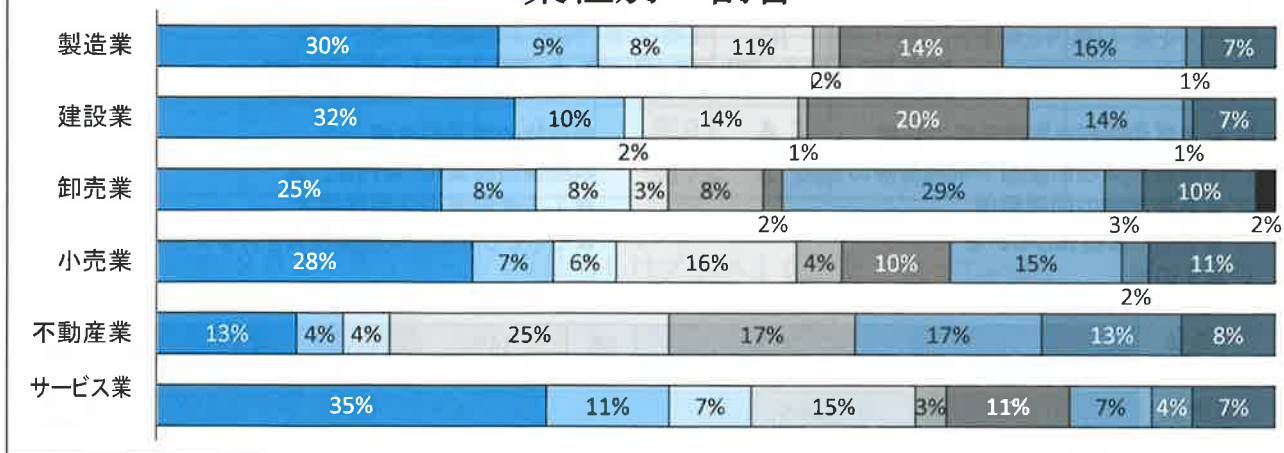


- 『明るい』（「明るい」「やや明るい」の合計）の割合は33%、『暗い』（「やや暗い」「暗い」の合計）の割合は19%となっている。
- 『明るい』の割合が最も高い業種は、製造業（47%）、建設業（30%）、サービス業（29%）の順となっている。

問2. 3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのように考えですか。（複数回答）



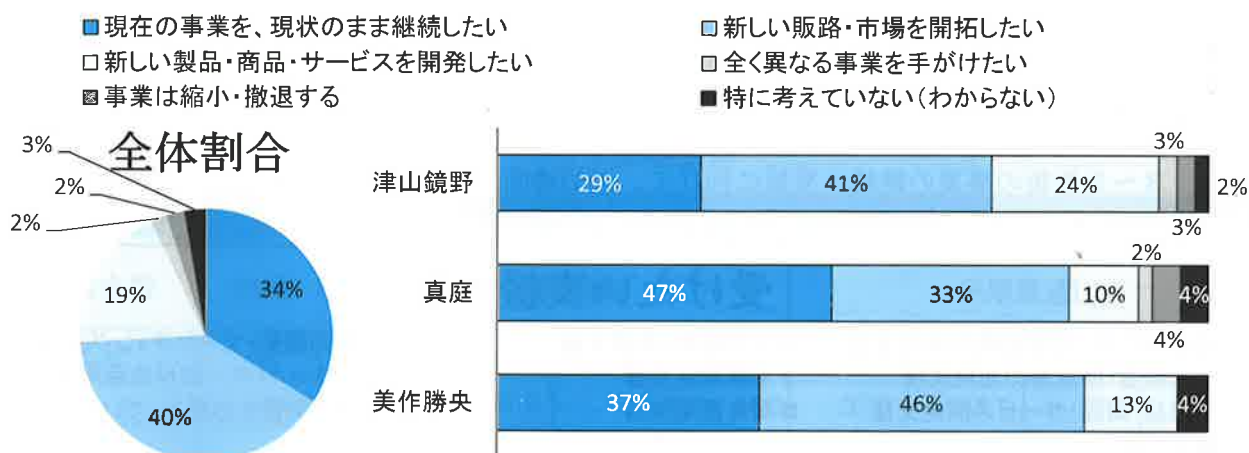
業種別の割合



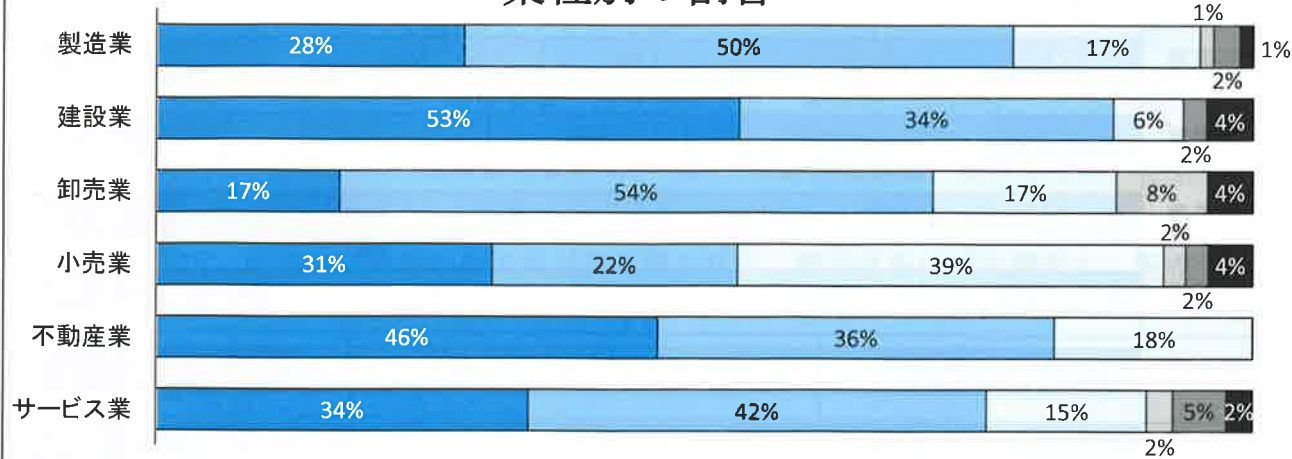
- 重視する事柄は、割合の高い順に「人材」（30%）、「販路・取引先」（15%）、「経営組織・体制（経営力）」（13%）、「技術・ノウハウ」（12%）となっている。
- 不動産業と卸売業を除く業種で、「人材」の割合が最も高く、全体で30%となっている。卸売業は「販路・取引先」（29%）、不動産業は「経営組織・体制（経営力）」（25%）の割合が、最も高くなっている。

問3. 3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。

地域別の割合

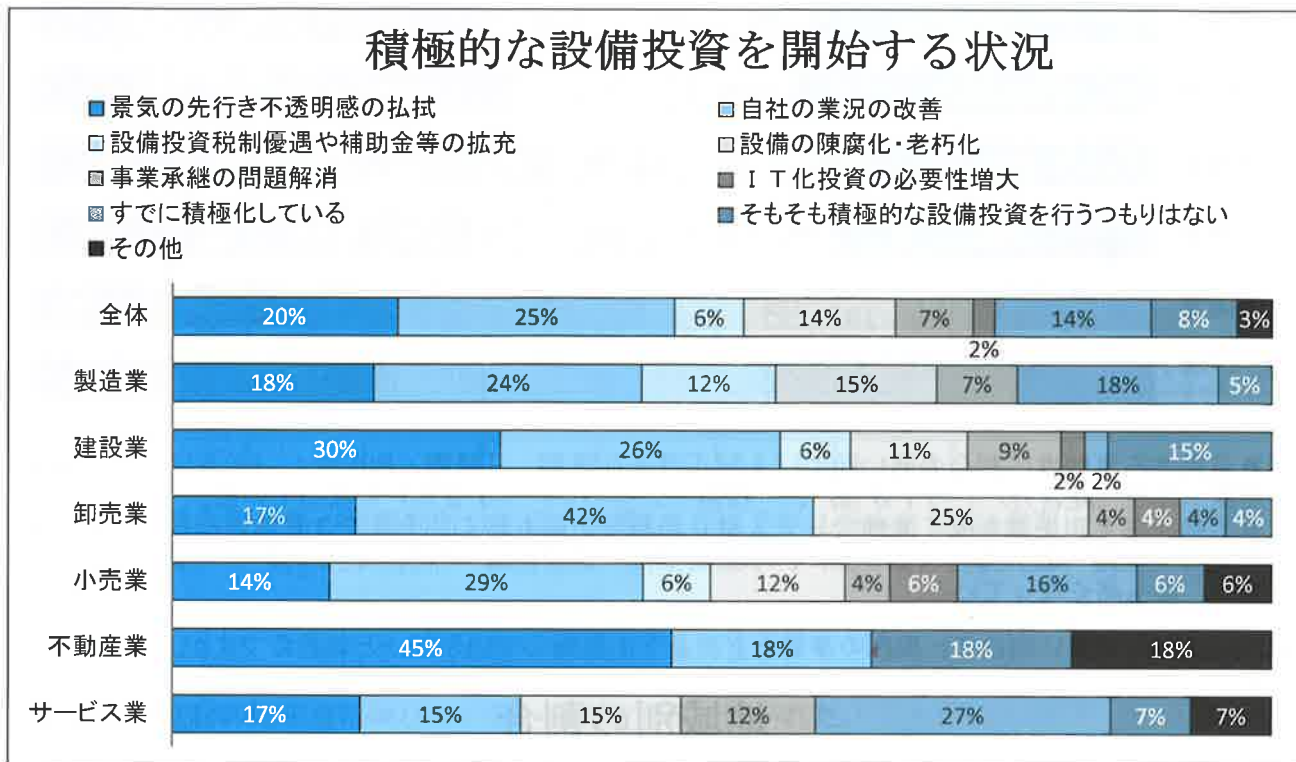


業種別の割合



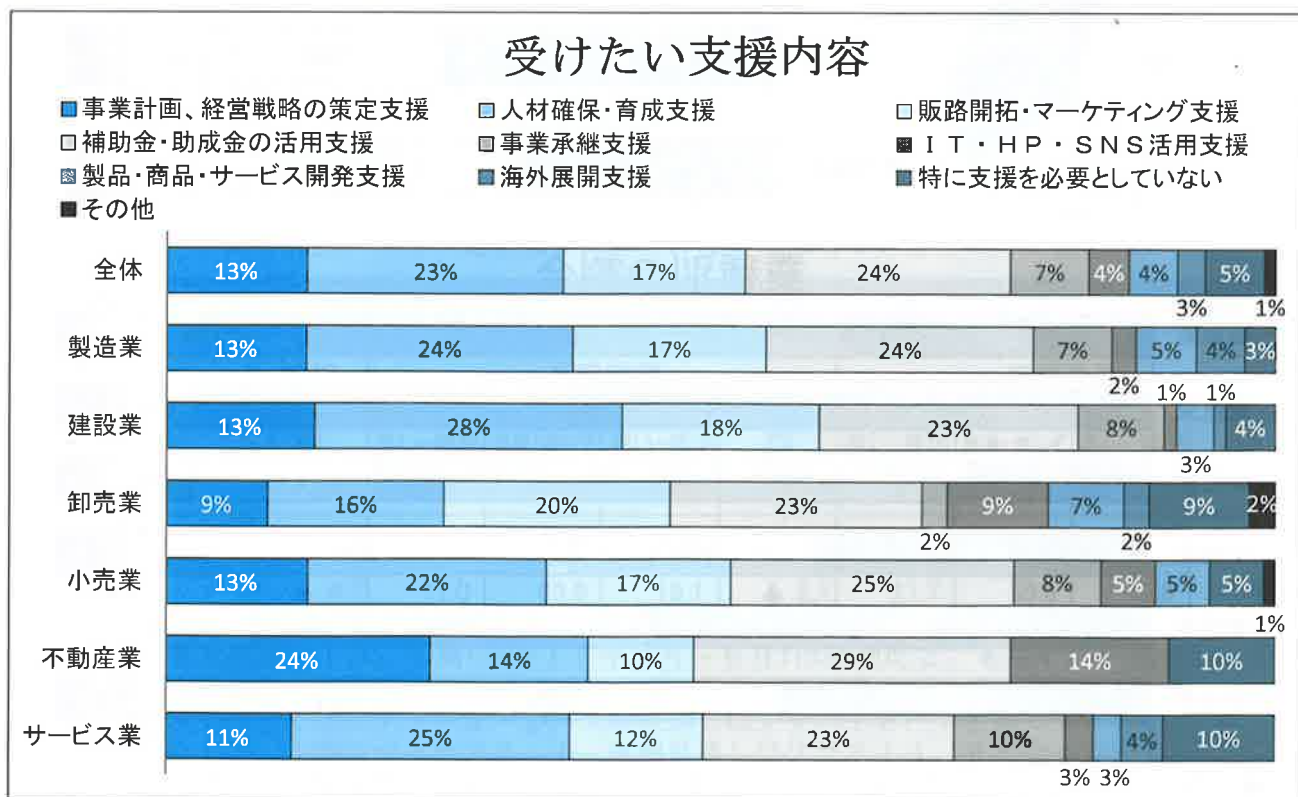
- 「新しい販路・市場を開拓したい」が全体で40%と最も高く、製造業、卸売業、サービス業で最も高くなっている。次いで、「現在の事業を、現状のまま維持したい」が34%で、建設業と不動産業で最も高くなっている。
- 小売業では、「新しい製品・商品・サービスを開發したい」の割合が39%と最も高くなっている。

問4. 3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。



●「自社の業況の改善」の回答割合が25%と最も高く、次いで、「景気の先行き不透明感の払拭」が20%となっている。一方で、「すでに積極化している」が14%となっており、サービス業（27%）、製造業（18%）、小売業（16%）で高くなっている。

問5. 3～5年後の事業の継続・発展に向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。（複数回答）



●「補助金・助成金の活用支援」の割合が24%と最も高く、次いで、「人材確保・育成支援」が23%となっている。

●「事業承継支援」の割合は、7%となっている。また、「特に支援を必要としていない」は5%となっている。

(参考) 作州地域の事業所数および従業者数の変化

※平成28年経済センサス活動調査・平成24年経済センサス活動調査（総務省と経済産業省）を基に当金庫作成

●全産業（平成28年と平成24年比較） ※公務を除く

地域	(単位：社)				(単位：人)			
	28年 事業所数	24年 事業所数	増減数 (28-24年)	増減率 (増減数/24年)	28年 従業者数	24年 従業者数	増減数 (28-24年)	増減率 (増減数/24年)
津山市	5,084	5,216	▲ 132	▲ 2.5%	45,994	45,087	907	2.0%
真庭市	2,469	2,641	▲ 172	▲ 6.5%	17,712	18,567	▲ 855	▲ 4.6%
美作市	1,287	1,360	▲ 73	▲ 5.4%	10,278	11,409	▲ 1,131	▲ 9.9%
勝央町	436	443	▲ 7	▲ 1.6%	5,475	5,534	▲ 59	▲ 1.1%
鏡野町	490	494	▲ 4	▲ 0.8%	5,274	4,832	442	9.1%
作州10市町村	10,837	11,285	▲ 448	▲ 4.0%	92,888	93,644	▲ 756	▲ 0.8%

●農林漁業

津山市	35	27	8	29.6%	312	274	38	13.9%
真庭市	49	45	4	8.9%	414	363	51	14.0%
美作市	14	10	4	40.0%	165	86	79	91.9%
勝央町	5	5	0	0.0%	18	125	▲ 107	▲ 85.6%
鏡野町	22	21	1	4.8%	229	201	28	13.9%
作州10市町村	167	146	21	14.4%	1,625	1,637	▲ 12	▲ 0.7%

●非農林漁業

津山市	5,049	5,189	▲ 140	▲ 2.7%	45,682	44,813	869	1.9%
真庭市	2,420	2,596	▲ 176	▲ 6.8%	17,298	18,204	▲ 906	▲ 5.0%
美作市	1,273	1,350	▲ 77	▲ 5.7%	10,113	11,323	▲ 1,210	▲ 10.7%
勝央町	431	438	▲ 7	▲ 1.6%	5,457	5,409	48	0.9%
鏡野町	468	473	▲ 5	▲ 1.1%	5,045	4,631	414	8.9%
作州10市町村	10,670	11,139	▲ 469	▲ 4.2%	91,263	92,007	▲ 744	▲ 0.8%

●作州地域の平成28年の事業所数は、10,837社と平成24年の11,285社より448社減少している。農林漁業で21社増加しているが、非農林漁業で469社減少している。

●作州地域の平成28年の従業者数は、92,888人と平成24年の93,644人より756人減少している。農林漁業で12人減少、非農林漁業で744人減少している。

●従業者数比較（平成28年と平成24年比較）

市町村別増加ランキング	(単位：人)		
	ベスト1	ベスト2	ベスト3
津山市	卸売業、小売業 1,067	医療、福祉 945	複合サービス事業 354
真庭市	医療、福祉 170	複合サービス事業 74	サービス業(他に分類されないもの) 25
美作市	医療、福祉 209	金融業、保険業 84	製造業 55
勝央町	運輸業、郵便業 148	医療、福祉 120	製造業 111
鏡野町	運輸業、郵便業 350	製造業 316	医療、福祉 151
作州10市町村	医療、福祉 1,617	卸売業、小売業 617	運輸業、郵便業 362

●全体で従業者数が増加している業種は、「医療、福祉」（1,617人）、「卸売業、小売業」（617人）、「運輸業、郵便業」（362人）の順となっている。

市町村別減少ランキング	(単位：人)		
	ワースト1	ワースト2	ワースト3
津山市	製造業 ▲ 864	金融業、保険業 ▲ 211	建設業 ▲ 206
真庭市	建設業 ▲ 297	宿泊業、飲食サービス業 ▲ 283	卸売業、小売業 ▲ 186
美作市	サービス業(他に分類されないもの) ▲ 611	複合サービス事業 ▲ 474	建設業 ▲ 186
勝央町	サービス業(他に分類されないもの) ▲ 114	宿泊業、飲食サービス業 ▲ 78	建設業 ▲ 75
鏡野町	卸売業、小売業 ▲ 246	複合サービス事業 ▲ 71	宿泊業、飲食サービス業 ▲ 60
作州10市町村	建設業 ▲ 785	サービス業(他に分類されないもの) ▲ 722	宿泊業、飲食サービス業 ▲ 701

●全体で従業者数が減少している業種は、「建設業」（▲785人）、「サービス業（他に分類されないもの）」（▲722人）、「宿泊業、飲食サービス業」（▲701人）の順となっている。

※複合サービス事業：郵便局、農業協同組合等

※サービス業（他に分類されないもの）：廃棄物処理業、自動車整備業、職業紹介・労働者派遣業等

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
地域創生部
(担当：杉山、岡部)